

風の谷 びゅう VIEW

社会福祉法人 風の谷
相模原市中央区田名7236-3
発行責任者 政野 光廣
042-760-1033
<http://www.kanagawa-id.org/yamabiko/>
e-mail: ykoubou@pastel.ocn.ne.jp



【2021年 秋号】

◇巻頭文	P 2	◇「それぞれ」～自閉症支援センターより～	P 3
◇特集	P 4・5	◇決算報告	P 6
◇グループホーム便り	P 7	◇後援会のページ	P 8

ご挨拶

理事長 政野 光廣

まだまだ暑さの強い日が続きますが皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。また、未だコロナウイルスによる災禍の中、お体におかわりはないでしょうか。皆さまには日頃より社会福祉法人風の谷にご支援をいただき心より感謝申し上げます。

さて、この度、私どもの法人にてあってはならない不祥事が起きてしまいました。この紙面を借りて皆さまにお詫びするとともに不祥事の概要及び進めている改善策についてお伝えいたします。

この不祥事は昨年7月に短期入所サービスを提供していた際、短期入所専任職員が利用者への対応中に身体的虐待を起こしたことによるものです。この件について、管理者は、不適切な対応ではあるが虐待とまでは言えないと判断し、行政への報告をしませんでした。この不祥事により相模原市による監査、特別指導監査が実施され、法人運営など数多くの項目について改善すべきとの指摘を受けました。

虐待防止法の通報義務を怠ったことにつきましては虐待防止法の理解が足りず、利用者本位の姿勢とはかけ離れた誤った判断でありました。私たちがこの自閉症支援に特化した法人（施設）を設立したのは、ともすれば権利侵害や虐待の対象になりやすい自閉症の方たちの尊厳を守り、自閉症理解に基づいた支援を提供することであったはずで、それにもかかわらず、このような事態を招いてしまったことは、法人・施設の存在意義を根底から否定することにつながりかねない行為であり、決して許されるものではありません。

また、当法人は、自閉症者の通所支援のみならず短期入所、移動支援、共同生活援助などに取り組んできました。これらの支援を行うためにはそれなりの支援スタッフが必要ですが、支援スタッフを確保し維持するだけの体制が不十分な状態でした。そのため、支援者が様々な業務を兼務する方法がとられました。その結果、労基法を超えるスタッフの働き方になっていました。また、支援優先の考え方は、サービス利用にともなう契約や個別支援計画の作成等々が後回しになるなど、法令順守の姿勢が軽視されることにつながりました。

＜改善に向けての法人の取り組み＞

現在、法人内に法人役員、職員及び外部委員から構成された改善委員会を設置し、相模原市監査指摘事項に対する改善事項を具体的に実施するために活動しています。

改善委員会の検討分野としては

・働き方の見直し ・運営体制の見直し ・支援の充実 ・事業戦略の確立 等の各分野を選定し、各分野においてより具体的な検討課題を抽出し検討を実施しています。

最後に

虐待事案の未通報、個別支援計画の未作成などにより法人に多大な損害を招いたこと、利用者家族、職員等に大きな不安と混乱を与えてしまったことは法人の運営体質や管理者の管理監督が不十分であったことによるものと考えています。改めてお詫びを申し上げます。

これを機会に改善委員会の改善案に基づいた改善改革に努め、皆が安心して利用でき、未来を描ける法人になることに全力を注ぐ覚悟です。

どうぞ今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

それぞれ ～相模原自閉症支援センターより～

障害福祉の仕事は、人と人との繋がりで、私たち支援者に、様々な視点から支援のあり方や職員として考えるべき機会を与えてくれます。

逗子マリーナや海浜公園まで数百メートル、逗子の住宅街の並びにある通所施設。横浜にある福祉系の専門学校に通っていた頃、学校の仲間とボランティアに行っていた場所です。もう20数年前のことです。

当時、イベントのボランティアに応募し、参加できることを楽しみにしていました。海水浴の活動では、歩行が不安定な方と浮き輪を使って泳いだり、箱根への一泊旅行のボランティアにも参加しました。障害の重い方が、積極的に活動や外出にチャレンジする機会を計画していて、その時間を利用者様と一緒に過ごせることが、とにかく楽しかった思い出として残っています。

今年の7月、当法人は相模原市による監査での指摘事項の改善（相模原自閉症支援センターを含む）に向けて改善委員会を設置しました。支援現場の意向を反映しながら具体的な改善につなげていくことを目的としています。

私も主任やリーダーたちと内部委員として出席しています。そこに、専門学校時代のボランティアで出会った当時施設長だった方が、外部委員として出席して頂いています。あれから、20数年の月日が経ちました。偶然の繋がりに感謝しています。ボランティアをして利用者様と過ごした、あの頃の初心の気持ちの大切さを記憶とともに再確認が出来た想いです。皆、利用者様を通じた出会いであること。その気持ちを忘れずに、人と人との繋がりに感謝しながら、皆と改善に取り組んでいきたいと思えます。今は繋がりを作ってもらうことばかりですが、私自身も人と人を繋げられる人間になれるように努めていきたいと思っています。

畑山



第14回 相模原市自閉症児・者 作品展

【日時】

11月26日（金）13:00～19:00

11月27日（土）10:00～19:00

11月28日（日）10:00～15:00

【会場】

おださがプラザ ラクアルオダサガ 4F

（小田急線：小田急相模原駅 北口下車1分）

※ご来場の際は必ずマスクの着用をお願いします

■Web開催 下記ホームページよりご覧いただけます

【URL】 <http://sagami-yamabiko.jp.org/>

【掲載期間】12月10日（金）12時 ～ 1月10日（月）22時まで

【主催】神奈川県自閉症協会 【共催】相模原市自閉症児・者親の会（相模原やまびこ会）

【お問い合わせ】相模原やまびこ会 042-743-4660



やまびこ工房 2021 ～活動報告！～

新型コロナウイルス感染拡大に伴いこれまで取り組んできた活動など、実施できない状況が依然として続いています。様々な場面で我慢を強いられる今の生活ではありますが、私たち職員はやまびこ工房に通う利用者の皆さんが少しでも楽しめる、また充実した毎日を送ることが出来るように日々考え、試行錯誤しながら支援にあたっています。そんなやまびこ工房の今を紹介したいと思います。※感染防止対策実施のもと状況に応じマスクなど外させてもらっています

ブルーベリー畑・園芸

家族会後援会所有の畑での活動です。ご家族の皆さんが管理して下さっている畑では毎年ブルーベリーや季節の野菜などがたくさん実ります。畑を繋いでこられた、たくさんの方々の想いを一緒に紡いでいけたらと思います。また、工房敷地内でも野菜や果物、植物を育てています。実際に水をあげ育ったものを収穫して食べる。自閉症の方にとってイメージしにくい過程ですが、“普段食べている物がどのようにしてできるのか？”“育つのか？”を、実際に体験し感じてもらっています。

ブルーベリー畑（草むしり・収穫）



園芸



毎日の水やりや、皆さんの温かな見守りで豊作です！



アクティビティ

コロナ禍ということもあり、依然として身体を動かす機会が少ない状況です。他にも様々な課題もある中ではありますが、個々のニーズに合わせ今できることを試行錯誤しながら実施しているところです。

バランスボール



エアロバイク



散歩



風船バレー



自主製作品関連

利用者の皆さんには様々な自主製品の製作に取り組んでもらっています。今回は新たに組み始めた製品を紹介！皆さんが実際に書かれた文字や絵をスタンプにしたことで個性あふれる魅力的な製品もたくさん誕生しています。去年はオンラインのみであった相模原やまびこ会の作品展も、今年はオンラインと会場で開催される予定ですので、より一層気合いが入っています！

モップ作り



スタンプを使った新製品



実際に書いた文字や絵がスタンプに！メモ帳など、普段の生活に欠かせないアイテムも新たに製作しています。利用者の皆さんの“感性”を、より身近に感じることが出来ます。

メモ帳作り



この紙切りからメモ帳が生まれました

デザインやスタンプ押しなど、それぞれ得意な工程で活躍しています！

スタンプ



趣味や特技がお仕事に…
オンリーワンのデザイン



スタンプの種類も豊富です！

ラベンダー製品

自主製作品はやまびこ工房、第二やまびこ工房、ベジたべーな（JA 相模原）で販売しています★

毎年いただくラベンダーポプリの他に今年はスワッグ（壁飾り）も仲間入り（^^）



社会福祉法人風の谷 2020年度決算状況報告（単位：千円）

（1）資金収支計算書（2020年4月1日～2021年3月31日）

区分	収入額	支出額	資金収支差額
事業活動による収支	399,675	364,559	35,116
施設整備等による収支	6,885	24,526	-17,641
その他の活動による収支	18,201	21,891	-3,690
合計	424,761	410,976	13,785

※当期末支払資金残高 492,439

（2）事業活動計算書（2020年4月1日～2021年3月31日）

勘定科目	当年度決算
サービス活動増減差額	16,784
サービス活動外増減差額	5,020
経常増減差額	21,804
特別増減差額	-205,861
当期活動増減差額	-184,057
前期繰越活動増減差額	704,389
当期末繰越活動増減差額	520,332
次期繰越活動増減差額	520,332

（3）貸借対照表（2021年3月31日現在）

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	517,450	流動負債	48,806
固定資産	904,204	固定負債	470,361
		純資産の部	
		基本金	55,912
		国庫補助金等特別積立金	269,737
		その他の積立金	56,500
		次期繰越活動増減差額	520,337
資産の部合計	1,421,654	負債及び純資産合計	1,421,654

（4）財産目録（2021年3月31日現在）

区分	金額
資産の部	1,421,654
負債の部	519,168
差引純資産合計	902,486



ナウシカ便り



ナウシカで生活する皆さんの誕生日が4月と8月に集中していることから、毎年この月は「イベント月」となっています。今年は調理担当と協力し「お祝い膳」なるメニューをつくり、楽しんでいただきました。

人によって食べ物の好みはさまざまですが、ここナウシカで皆さんに共通するのは中華系のメニューです。中でも餃子は皆さんお好きなようで、ナウシカではいわゆるテッパンメニューとなっています。

私が興味深いと思うのは個々に調味料の使い方が異なるということです。テッパンメニューの餃子にしても、醤油のみの方、醤油とラー油の方、なにもつけない方…とさまざまです。理由はそれぞれにあると思いますが、単なる味の好みだけではない気がするのです。

味なのか食感なのか、野菜を好まれる方は少ないのですが、毎年の誕生日を経ていくうちに、嗜好の変化からか嫌いなものリストから削除されていく野菜もあります。中には野菜を食べてお肉を残すようになった方も。私もちょうどナウシカの皆さんとは同世代ですので、欲する栄養素も味の好みも若い頃のそれとは異なりますが、そんな変化も「ハッピーバースデー！」と楽しんで、これからも一緒に年を重ねていけたらと思います。(野田)



カラフル便り



秋といえば行楽の秋ですが、我慢の日々が続きますね。幸いカラフルでは皆さん体調を崩すことなく穏やかな日々が続いていますが、思い通りに外出できない日々は続いています。そんな中カラフルでは、皆さんが退屈してしまわないように、日々に楽しみを見出したイベントをこまめに開催中です！雨続きの7月は七夕こそ晴れますようにと願いをこめて、短冊飾りとるてる坊主をつくり、誕生日ラッシュのある8月では豪華なサプライズディナーを用意して、皆さんの喜ぶ姿がみられました。

もちろんイベントには季節感も大事ですよ。今回紹介するカラフルのイベントは文化の秋、お月見です。

カラフルがある地域のお月見は「お月見くださ〜い」「お月見泥棒で〜す」と声をかけて家を訪問し、お菓子をもらってまわるという『お月見泥棒』という風習があります。今年はカラフルの皆さんもこの地域の一員として参加できるように、敷地内にお菓子ボックスを用意して準備は万端！ご近所の方にもお月見を楽しんでいただけたらと思います。

これからもハロウィンやクリスマスなど楽しみなイベントが続きます。準備から片付けまで、一緒に取り組みながら、楽しい時間を共にしていきたいと思います。(田辺)

後援会のページ

この夏はコロナ禍に加えて雨の日が多くあちらこちらで豪雨災害もあり、心晴れない日々が続いていますが、皆様には恙なくお過ごしでしょうか。

私の様な高齢者にとってはこの一年半以上の間、友人と会うことも旅行を楽しむこともできず、残り少なくなった貴重な時間を盗まれてしまったように感じています。しかし自閉症の障害を持つ子らは外出など好きなことを制限され私達以上に我慢を強いられています。

ただ、風の谷でも集団でワクチン接種が行われましたし、治療薬も幾つか開発されたニュースもあり、この病との戦いの道筋が少し見えて来たように感じています。今回のコロナは人から人への感染で世界的に広がった訳ですから、やはり人災と言えるのでしょうか。だとすれば人の知恵でもっと早く収束させることが可能だったのではないのでしょうか。国や自治体には今後備えて抜本的に医療/検査体制の拡充や様々な緊急事態への対応が機動的にできるよう準備して貰いたいものです。

勿論まだまだ油断は禁物で一人一人が今まで通りしっかりと感染対策に心がけることの重要性は言うまでもありません。

今年も恒例の「地域交流まつり」は中止しましたが、来年はぜひ安心して開催できる様な状況になっていることを願っています。

風の谷後援会会長 堀田脩司

令和2年12月1日～令和3年6月30日現在 五十音順（敬称略）

【更新個人】

〈相模原市〉

大久保喜美子 小川ひろみ 小野沢進 加来和仁 加藤秀典 菊池みどり 小針和昇 篠崎繁雄
 渋谷安恵 島森隆夫 菅照雄 鈴木秀美 都築尚一 豊田幸男 中村成美 野口和代 萩原莉恵子
 萩原春夫 古澤倫子 辺見祐二 堀田脩司 政野大 政野光廣 松原麻子 森合貞雄 柳井晶子
 柳場秀雄 山田正人 吉澤孝雄

〈相模原市外〉

新井靖数 佐藤つかえ 山井京子（厚木市）中塚正彦（座間市）後藤郁奈子（綾瀬市）
 浅羽昭子（横須賀市）創デザイン工房 水田敏弘（寒川町）合津紀子（上田市）大久保禎（富士市）
 山田美和（品川区）山本昭子（町田市）青山恵子 石渡和実 大久保秀俊 鷺谷廣道 清水洋子
 内藤美也子（横浜市）

【更新団体】

相模原やまびこ会

【ご寄付・ご協力】

新宿自治会 振興自治会 田名地区連合会 医療法人社団明和会中村病院（有）伸和トラスト
 三菱さがみ共済会 キュービックさがみはら 重岡邦子 高橋ツギ 萩原春夫
 その他たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。

風の谷後援会のご案内

風の谷後援会は、自閉症者の自立と社会参加を目指す『社会福祉法人 風の谷』を支援することを目的にしております。主旨に御賛同頂き、皆様の温かい御支援を頂きますようお願い申し上げます。

一般会員 一口：3,000円／年間 団体会員 一口：10,000円

※一口以上、何口でも承ります。現金を添えてのお申し込みも承ります。

＜お問い合わせ先＞

『風の谷後援会』事務局

〒252-0244 相模原市中央区田名 7236-3 社会福祉法人「風の谷」内

TEL：042-760-1033 FAX：042-760-7115

郵便振込先 口座番号 00230-1-15345

他の金融機関からの振込先 ゆうちょ銀行 9900 店番 029 当座 0015345